

オフィス町内会



会報 福豆号

発行日 平成10年2月3日
発行所 オフィス町内会事務局 代表・半谷栄寿（東京電力）
〒108-8337 東京都港区芝浦4-6-14 東電環境エンジニアリング株
連発先 TEL03-3454-0408 FAX03-3452-4815
編集 オフィス町内会事務局 副代表・榊原誠 エーラン社

白色度 前線

一九九七年 白色度シンポジウム① 花のお江戸
浪花の輪
一九九八年 白色度シンポジウム②

白色度シンポジウム

東京都庁大会議室で盛り上がる

適度な白さ 最前線

昨年7月7日に、東京都庁大会議室において、東京都、社団法人日本青年会議所（日本JC）、そしてオフィス町内会の三者が主催するコピー用紙の『白色度シンポジウム』が開催されました。「これからは『適度な白さ』が採用基準です。」というキャッチフレーズのもと、オフ

イス町内会会員企業の皆さんをはじめ、全国の自治体関係者、日本JC会員、市民の方々などの多数の参加を得て、会場はほぼ満員となりました。
シンポジウムは、開催主旨説明に始まり、基調講演、座談会と3時間にわたって盛り上がりました。

「目からウロコ」

基調講演・横島庄治
NHK解説委員・高崎経済大学教授



横島氏は講演の冒頭で、平成6年に初めて白色度運動に携わったとき、目からウロコが落ちる思いだったと話し始めました。環境運動の一環として、改めて「白さ」を考えることから新しいものの見方ができること、新しいサイクル運動の起こる予感を感じたということでした。そして、これまでのオフィス町内会の白色度への取り組み、運動の拡がりについて高い評価をして下さるとともに、NHKで解説委員を務められる横島氏らしい多彩な切り口で、白色度運動の意義を講じられました。

座談会は、白色度70男を自称する寄本座長の進行で、紙の白さ、紙の大切さをめぐり、いろいろな話が出てきました。自然の白い花は真っ白のようで、白色度70くらい、日本の伝統的な色の美意識では真っ白は野暮だったのではないかと、雪と

また、白色度運動の継続と、「使わない紙運動」などへの拡がりについても語られました。講演の終いでは、再生紙を使うというのは2番目の答えで、1番目の答えは、使わずに済む紙は使わないこと。行政改革、財政改革が求められる今、市民・企業に求められる運動は、「紙の改革」であると結ばれました。

座談会・「これからは適度な白さが文化のバロメーターです」

寄本勝美 早稲田大学政治経済学部教授（座長）

辰濃和男 日本エッセイストクラブ専務理事

犬養亜美 エッセイスト

安間謙臣 東京都清掃局こみ減量総対策室長

村岡兼幸 日本青年会議所会頭

半谷栄寿 オフィス町内会事務局代表

*敬称略・順不同

水に囲まれて暮らすエスキモーには156色の白があるという逸話、都庁内での白色度運動の拡がりについて、日本JCのもったいない運動と白色度運動の共鳴について、社会貢献に通じる企業活動としての白色度70……などなど。
かつて、紙は文化のバロメーターといわれ、使う量が多ければ文化が発達しているという意味でした。しかし、この座談会からもうかがえるのは、これからは、どんな紙を使っているかで文化が問われる時代になったということでした。

会場からの声、声、声。

積極的な意見交流
市民、企業、製紙メーカーから



座談会の後半では、会場の皆さんからも積極的な発言が寄せられました。

製紙メーカー・サプライヤー、古紙リサイクルに取り組み市民団体、一般個人の方、マスコミ、ジャーナリスト、そしてオフィス町内会の会員企業の方。それぞれが、普段の活動を通じたなまの声を発してくださいました。この日のシンポジウムの後、中央官庁ではコピー用紙の購入仕様に白色度70であることが指名される動きが始め、製紙メーカー・サプライヤーにおいては白色度70再生コピー用紙の製品ラインナップが急速に充実してくるなどしています。熱のこもったシンポジウムの意見交流が、白色度運動の拡がりの一端を担ったものと思います。（1998年2月に、大阪でもこのシンポジウムの第2弾が開催されることになりました。ウラ面の記事をご覧ください。）

大人になろう。

横井弘海（フリーアナウンサー・ジャーナリスト）

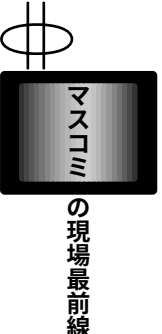
スジを通す

アメリカの新聞「ワシントンポスト」が高級紙といわれるのは何故か？という話を話し合ったことがありました。そのときの結論的なこととして、記名記事で事柄をきちんと分析している報道姿勢が、センセーショナルを追い求めているタブロイド紙との違いを生んでいるのだらう、という答えに達したのでした。
なるほど、と思いました。私自身の反省も込めて、
大衆がマスコミを先導しているのか、マスコミが大衆を先導しているのか、どちらが先かは考えが生活に根づいているといふか、普通のことになっているんだから、第三者がとやかくいうことではないと。いいなあ、カッコいいなあ、と思いました。一方、生活文化の成熟度の違い、生活に馴染んでいる状態、日本はリサイクルに関しても、こういう成熟状態にはなっていないと思っ



考えて生活に根づいているといふか、普通のことになっているんだから、第三者がとやかくいうことではないと。いいなあ、カッコいいなあ、と思いました。一方、生活文化の成熟度の違い、生活に馴染んでいる状態、日本はリサイクルに関しても、こういう成熟状態にはなっていないと思っ
「適度な白さ」、「ちょうどいい白さ」。適度とかちょうどいいというのは、主観的な判断になるわけですから、オトナじゃなければ決められないですよ。このコピー用紙が、いいか悪いか、採用するかしないかは、自分自身の考えに自信と責任を持てるかどうか、オトナになれるかどうかにかかると言っています。
そういう意味で、私は、もつとオトナになりたい。皆さんは、いかが思われますか？
横井弘海（よこいひろみ）
フリーアナウンサー、ジャーナリスト。
東京都出身、青山学院女子短期大学卒業。ヨーロッパに半年間遊学の後、フリーアナウンサーとして活動を始める。テレビ、ラジオで数多くの番組を担当するほか、イベントや式典の司会も務める。活躍は電波媒体だけでなく、時事通信社発行の「世界通観」や外交知識普及会発行の「外交など雑誌の連載ページ」も担当している。第28代ミス東京、防衛庁オビニオンリーダー、（社）日本外国特派員協会会員。

第二回 町内会だより



コピー用紙の白色度シンポジウム

2月5日開催

大阪

東京都庁大会議場で行われたコピー用紙の白色度シンポジウムの第2弾が、2月5日（木）、大阪商工会議所国際会議

ホールで開催されます。

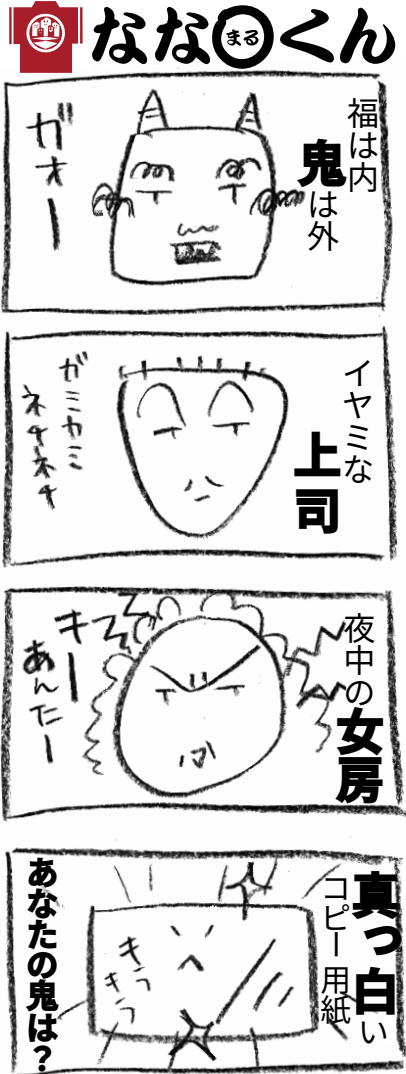
白色度運動の着実な拡がりがかがえま

開催要項

日時 平成10年2月5日（木）12時30分～16時40分
会場 大阪商工会議所国際会議ホール
入場料 無料
主催 オフィス町内会
（社）日本青年会議所
大阪府再生資源集団回収推進協議会
（大阪府および府下市町村）
大阪商工会議所
大阪府 環境庁 大阪府 大阪市
後援 通商産業省 環境庁 大阪府 大阪市

内容

基調講演 三橋規宏（日本経済新聞社論説主幹）
「白色度活動とゼロエミッション」
特別講演 辰濃和男（日本エッセイストクラブ専務理事・元朝日新聞天声人語担当）
「日本文化と白さについて」
座談会 「コピー用紙の白さを考える」
―再生品の需要拡大を目指して―
座長 寄本勝美（早稲田大学政治経済学部教授）
話題提供者 大橋耐二（富士ゼロックスオフィスサプライ専務取締役）
阿部英和（大阪府環境事業局指導課長）
湯浅泰介（日本青年会議所副会頭）
半谷栄寿（オフィス町内会事務局代表）
司会進行 横井弘海（フリーアナウンサー）



エコオフィス町内会前線

北海道オフィス町内会

スタートしました

千代田区の昌平童夢館において開催されたイベント（9年7月26日）に、ちよだ・エコオフィス町内会が出席いたしました。

フリーマーケットやソーラーカーの模型工作コーナーは、家族連れや子供たちで大変な賑わいを見せていました。物を大切にしたい気持ちで要らなくなった物を有効に再利用するフリーマーケット。環境・エコロジーにやさしい太陽エネルギーに関心を持って楽しむソーラーカー遊び。そこには、〇〇のため「〇〇しなくては」といった受け身のリサイクルから意識開放された、ほんとうのリサイクル生活の一端が見てとれる気がしました。

札幌市でオフィス町内会方式による古紙の分別回収がスタートしました。

札幌青年会議所の環境プログラム委員会では、毎月1回の回収日を「地球資源回収日」と呼んでいます。札幌での古紙共同回収は、これが初の試みで、昨年8月1日のスタート時には地元各紙に写真入で記事が掲載されるなど注目を集めました。

また、札幌青年会議所では、6年より2年間にわたって会員企業によるテスト実施を行い、排出される古紙の質、量などを調査し、モデルを築きあげ、会の発足にいたしました。

97東京ゴミ集會

東京国際フォーラムで開催

注目を浴びたオフィス町内会コーナー

昨年の9月28日（30日の3日間、有楽町の東京国際フォーラムで「97東京ごみ集會」が開催され、当局の依頼により、展示ホールにオフィス町内会コーナーを出展しました。

この展示は、製紙メーカーの東海パルプと回収会社のリサイクルサービスの協力を得て、従来の展示とは一味違ったコーナーづくりをすることができました。

古紙リサイクルは、①分別、②回収、③再生、④製品、という流れでその輪を形成します。これまで、オフィス町内会の展示では、①分別と④製品については実際に使っている分別ボックスやオフィス町内会印の再生紙製品など実物を展示してきましたが、回収や再生の工程は、写真や文章による展示となっていました。

一方で、リサイクルの呼びかけに対して、「分別することの意味は分かるし、再生紙製品を手に入れば、オフィス町内会の取り組みの成果がなんとなくわかる。でも、回収された古紙が、その後、どんな工程をたどって製品になるのか、実感として感じられない。」という声が寄せられたことがありました。



そこで今回は、②回収と③再生の工程についても、目で見て、手で触れる展示を企画し、回収会社と連携し、プレスされた古紙、製紙メーカーで溶解された再生パルプ、製紙原料として加工された再生パルプボード、一枚一枚に断裁される前の大きな巻取り紙などを展示することができました。

コーナーを訪れる方々は、とても熱心なようすで、大きな巻取り紙や再生パルプボードに手で触れながら展示をご覧になっていました。

この展示企画の準備に際しては、東海パルプの工場を見学させていただくなどして、スタッフも古紙リサイクルの実際をあらためて肌で感じることもできました。会員企業の皆さんも、ふだん分別している古紙がどんな風にリサイクルされるのか工場を見てみたい、という希望があれば、事務局までご相談ください。リサイクル修学旅行を企画いたします。

●半年ぶりの会報「白色度前線」号、発行が遅れてしまい申し訳ありません。編集担当者が停滞前線となっていました。誠に申し訳ないで、次号は桜の咲く頃を予定

●東京に続く大阪での白色度シンポジウム。白色度運動の前線は、着実に全国に拡がって、東から西へ、さらに今度は大阪に続く第3弾の企画も進行中です。

●がんばれニッポン。サッカーのワールドカップ、FRANCE 98。日本のサッカー前線の勢いが、いよいよ世界の舞台に登場。この場を借りてエールを送ります。

事務局長通信

（株）新井商店
営業部 担当・広沢/伊藤
tel 03・3605・7031

株式会社新井商店より、オフィス町内会マークのボックスステイッシュとトイレットペーパーが発売されました。明るく爽やかな清潔感をテーマにした新色「エコパステル・カラー」が使われたお洒落なパッケージ。オフィスで、ご家庭で、ご愛用ください。

この製品は、宅配で購入できます。ティッシュは50箱入1ケース2千500円、トイレットペーパーはシングル・ダブル共に96ロール入1ケース2千300円です（税・送料別）。購入のご希望・お問い合わせは左記まで。

（株）新井商店
営業部 担当・広沢/伊藤
tel 03・3605・7031

NEWブランド
ティッシュと
トイレットペーパー

トビックス
オフィス町内会